

News Release

2024年4月4日
株式会社日立システムズ

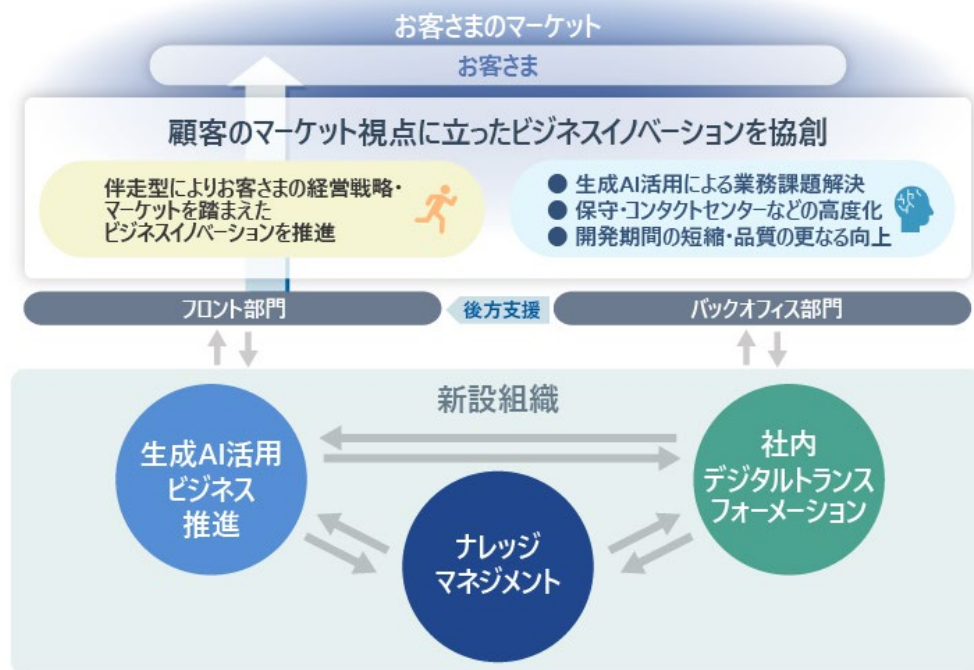
生成 AI 活用による IT 自動化と構想力向上でお客さまのビジネスイノベーションを協創

「ビジネスイノベーション統括本部」を2024年4月に新設

株式会社日立システムズ（代表取締役 取締役社長：柴原 節男、本社：東京都品川区／以下、日立システムズ）は、生成 AI を活用し、人も IT も進化することで、これまで以上にお客さまのビジネス変革とともに推進するパートナーをめざします。具体的には、「生成 AI 活用ビジネス推進」と「社内デジタルトランスフォーメーション」を両輪とし、双方で蓄積されたナレッジを「ナレッジマネジメント」として共有・活用します。

これにより、日立システムズの従業員は、蓄積された提案ナレッジやマーケットニーズを把握することにより構想力を高めることができ、さらに、生成 AI を活用した IT による自動化の加速を通じてお客さまの業務課題をより高効率に解決し、お客さまのビジネスイノベーションを協創します。

なお、本取り組みは、2024年4月に新設した「ビジネスイノベーション統括本部」が中心となり推進します。



生成 AI を活用して日立システムズがめざす姿

■詳細

本取り組みでは、「生成 AI 活用ビジネス推進」「社内デジタルトランスフォーメーション」「ナレッジマネジメント」の3機能を連携させ、お客さまのビジネスイノベーションを協創します。それぞれの機能の詳細は以下のとおりです。

機能	詳細
生成 AI ビジネス活用推進	セールス・伴走支援、お客さまニーズ把握、サービス開発
社内デジタルトランスフォーメーション	DX 戦略・業務改革構想策定、ユースケース創出、ガイドライン整備
ナレッジマネジメント	ノウハウ蓄積、人財育成、日立グループ連携

上記 3 機能に加え、フロント部門やバックオフィス部門と連携することで、マーケット視点に立ったビジネスイノベーションを協創します。お客さまの経営戦略・マーケットを踏まえたビジネスイノベーションの推進、既存の各業種向けサービス・パッケージと生成 AI を組み合わせた業種ごとの固有課題の解決、日立システムズの強みである保守サービス・マネジメントサービスなど既存サービスの高度化、開発期間の短縮・品質のさらなる向上などを予定しています。

また、日立製作所の「Generative AI センター」と連携しながら、日立グループ全体の AI トランスフォーメーション加速に向けて取り組んでいきます。

これらにより、生成 AI を活用し、「生成 AI 活用ビジネス推進」「社内デジタルトランスフォーメーション」「ナレッジマネジメント」を連携させ、提案ナレッジやマーケットニーズを把握することでお客さまの事業成長に伴走型で寄り添い、ともにビジネスを拡大・成長するパートナーをめざします。

■日立システムズについて

日立システムズは、企業理念に掲げる「真に豊かな社会の実現に貢献する」ために、日立グループの社会イノベーション事業を支える一員としてサステナビリティ経営を推進しています。強みであるさまざまな業種の課題解決で培ってきたお客さまの業務知識やノウハウを持つ人財・サービスインフラを活用したデジタルイノベーションサービスと、日立の先進的なデジタル技術を活用した Lumada やパートナーと連携した独自のサービスによりお客さまのデジタル変革を徹底的にサポート。社会課題を解決するだけでなく、社会価値、環境価値、経済価値の 3 つの価値向上に貢献し、人々の Quality of Life の向上とお客さまの価値向上を支援してまいります。

詳細は <https://www.hitachi-systems.com/> をご覧ください。

■お客さまからのお問い合わせ先

株式会社日立システムズ お問い合わせ Web フォーム

<https://www.hitachi-systems.com/form/contactus.html>

以上

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。